

すくらむ21まつり 企画講座

乙女文楽教室修了生の会 上演

ににんさんばそう

「二人三番叟」

川崎市で伝承される人形芝居「乙女文楽」。
今回は、毎年開催している子ども教室の
修了生による「二人三番叟(ににんさんばそう)」の
上映です。
人形解説やミニ体験もあります。

6月27日 日

1部) 13:30~14:00

2部) 14:30~15:00

開催団体 公益財団法人現代人形劇センター

場 所 すくらむ21 2F 第1・2研修室

対 象 どなたでも

定 員 各回20名

参加費 無料

保 育 なし

講座は事前予約制となっています。
参加者には、ささやかなプレゼントあり♪



お申込み・お問い合わせ先

電話、ホームページにて受け付けます。会場および申込方法の詳細は裏面をご覧ください。

主催：川崎市男女共同参画センター（愛称：すくらむ21）

ににんさんばそう
 ...◇ 二人三番叟 ◇...

《前半の舞》



《後半の舞》



『三番叟』ってなに？

『三番叟』は、もともと農作物の豊作(五穀豊稔)を神様に祈って演じられました。農業国であった日本では、大切な演目で、文楽だけでなく、神楽や能、歌舞伎などでも上演されています。



どんなときに演じられるの？

いまでは、お祝いのときや、物事を始めるときに、成功を祈って、演じられます。



どんな内容なの？

もともと豊作を祈る舞なので、前半は、勢いよく足で大地を踏み固める振りが、後半は、両手に鈴と扇を持ち、鈴を絡繰りにみせた振りが、たくさんあります。

一生懸命舞っていたので、途中で(赤)が疲れちゃって、サボるの。それを見た(白)が怒って(赤)をひきずっていく...なんてシーンもあります。



©イラスト：木俣かおり

申込・問合せ・開場

川崎市男女共同参画センター (愛称：すくらむ21)

☎213-0001

川崎市高津区溝口 2-20-1

電話：044-813-0808 FAX：044-813-0864

URL：https://www.scrum21.or.jp/

すくらむ21

検索

